

授業科目 NO. 710 公衆衛生看護管理論

Public Health Nursing Management and Administration

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1 単位（15 時間）

開講年次・学期： 4 年次・前期

必修・選択の別： 選択・保健師選択コース必修

キーワード： 公衆衛生看護管理・健康危機管理・キャリアラダー

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

公衆衛生看護管理の目的と特徴，公衆衛生看護管理における業務管理・予算管理・人材管理・情報管理、組織運営・管理、人材育成の保健活動について理解し、専門的な知識及び技術、連携・調整に係る能力、行政運営や評価に関する能力を育成する。

また昨今発生している様々な災害に対応するため、統括保健師の役割を理解し、組織横断的な活動の理解を深めることを目標とする。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 公衆衛生看護管理の目的と特徴を説明できる。(①②③)
- (2) 公衆衛生看護管理における業務管理・予算管理・人材管理・情報管理、組織運営・管理、人材育成について説明できる。(①②③)
- (3) 公衆衛生看護管理における業務管理・予算管理・人材管理・情報管理を踏まえ、事業計画を作成できる。(②③)
- (4) 健康危機時の保健活動の目的について説明することができる。(②③)
- (5) 統括保健師の役割を理解し組織横断的な活動が説明できる。(②③)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：中島 素子

非常勤講師 中島 素子

6 教育担当教員の実務経験

事業所 健康管理室 産業保健師 (1年間)

病院 健康管理室 在宅訪問保健師 (3年間)

大学 学生保健室 保健管理業務 保健師 (27年間)

7 教科書

1) 標美奈子他：標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論，医学書院（最新版）

2) 中村裕美子他：標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術，医学書院（最新版）

8 推薦参考書

保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社（最新版）

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

1) 授業 1 コマにつき，事前学修・事後学修として計 60 分程度必要である。

2) これまで学んだ公衆衛生看護学の授業および現在，並行して受講している各公衆衛生看護方法論の授業内容を復習して授業に臨むこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

1) 提出されたレポートについては，講義の中で取り上げ解説を行う。

2) 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

3) 毎回の講義終了時に提出する出席カード（講義の質問・意見など記載）に記載された内容や質問について，次回の講義で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

公衆衛生看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴを参考にして受講すること。

12 オフィスアワー等

質問は講義の前後で受けます。

第4学年

公衆衛生看護管理論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月02日(水)	1	講義	公衆衛生看護管理ガイドンス 公衆衛生看護の特色・基本			中島非常勤講師
前	2	4月09日(水)	1	講義	公衆衛生看護管理における組織管理・業務管理・情報管理・予算管理(費用対効果含む)			中島非常勤講師
前	3	4月16日(水)	1	講義	保健医療福祉における事業化と施策化・事業計画と保健師の役割			中島非常勤講師
前	4	4月30日(水)	1	講義	健康危機時の管理(感染症)			中島非常勤講師
前	5	5月07日(水)	1	講義	健康危機時の管理(自然災害) ホームグループワーク			中島非常勤講師
前	6	5月28日(水)	1	講義	健康危機時の管理(自然災害) ホームグループワーク			中島非常勤講師
前	7	6月04日(水)	1	講義	健康危機時の管理(自然災害) 避難所ジグソウグループワーク発表	レポート		中島非常勤講師
前	8(0.5)	6月04日(水)	2	講義	地域ケアシステムとネットワーク化			中島非常勤講師